

<小学国語>

- ◆ 2020年より小学校で新学習指導要領が全面実施。
- ◆ 授業時間数は、現行と同じ。
- ◆ 学年別漢字配当表が改定され、**都道府県に用いられる漢字を4年までに学習**。
- ◆ 目標に「言葉による見方・考え方」を示し、**語彙の充実や「情報の扱い方」**が設けられた。

学年別漢字配当表の改定

2018年の4年、2019年の4・5年では、新しい漢字配当表で学習する。

新	旧	追加・移行した漢字	
4年	5年	賀 群 徳 富	都道府県名に 用いられる漢字25字
	6年	城	
	中学 (20字)	茨 媛 岡 潟 岐 熊 香 佐 埼 崎 滋 鹿 縄 井 沖 枋 奈 梨 阪 阜	
5年	4年	困 紀 喜 救 型 航 告 殺 士 史 象 賞 貯 停 堂 得 毒 費 粉 脈 歴	4・5年の負担軽減の ために移行した漢字
		6年	
6年	4年	胃 腸	
	5年	恩 券 承 舌 銭 退 敵 俵 預	

新学習指導要領の内容構成

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
(1) 言葉の特徴や使い方	A 話すこと・聞くこと
(2) 話や文章に含まれている 情報の扱い方	B 書くこと
(3) 我が国の言語文化	C 読むこと

語彙指導の改善・充実

中央教育審議会でも「小学校低学年の学力差の大きな背景に語彙の量と質の違いがある」という指摘があり、新指では語彙の充実が図られている。例えば、1・2年では「身近なことを表す語句」、3・4年では「様子や行動、気持ちや性格を表す語句」、5・6年では「思考に関わる語句」が取り上げられている。これらの語彙は、単に言葉の意味を知るだけでなく、話や文章の中で使いこなせるようになることが求められている。

情報の扱い方に関する事項の新設

新指の【知識及び技能】には、「情報の扱い方」が新設された。これは、グラフの読み取りなどに限らない。例えば、説明文を読むにあたっての、必要な情報を取り出して情報同士の関係を整理したり、読み取った内容や伝えたいことが伝わるように表現を工夫したりする力が、より求められる。また、1・2年のうちから、「共通、相違、事柄の順序」などの情報同士の関係の理解を学ぶことになる。